

カンパチ



ヒレナガカンパチ



かんぱち伊豆諸島周辺海域

評価対象種：カンパチ・ヒレナガカンパチ（伊豆諸島海域）

令和8年4月

資源の水準と動向「中位・減少」

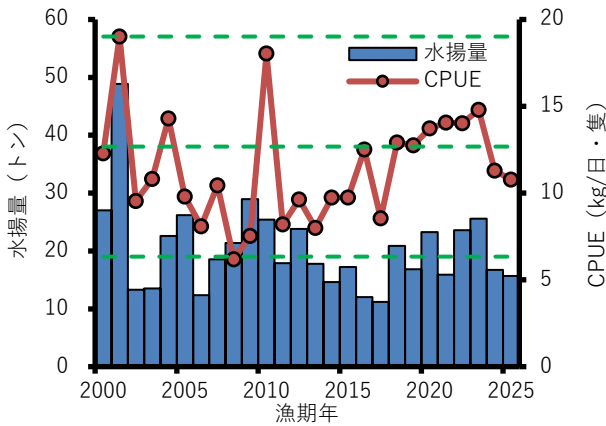


図1 水揚量とCPUEの推移

伊豆諸島海域におけるカンパチ類（カンパチ、ヒレナガカンパチ）の水揚量は、概ね10～30トンで推移し、最大値は2001年の49トンである。

CPUE（一本釣り漁業1日1隻あたりの水揚量）は、2008年に最小値の6.6 kg/日・隻を記録しているが、2018年から継続して10.0 kg/日・隻を超えている。

本資源評価票の資源量指標値はCPUEとした。2025年における資源の水準は、CPUEが最大値となった2001年の21.9 kg/日・隻の1/3以上2/3未満である11.6 kg/日・隻のため「中位」とした（図1）。

資源の動向は、直近5年間のCPUEから算出した年変動率が-8.27%で年間5%以上の減少が見られたため「減少」とした（図2）。

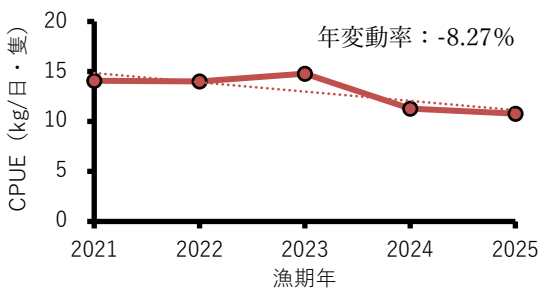


図2 一本釣りCPUEの年変動率

生態学的特性

- 分布・回遊：東京都では、伊豆諸島海域から小笠原諸島海域に分布している。
- 年齢・成長：カンパチ（飼育下）の平均尾叉長は満1年で46.3 cm、満2年で67.8 cmであり¹⁾、ヒレナガカンパチの平均尾叉長は小笠原諸島で雄64 cm、雌62 cmと報告されている²⁾。
- 成熟・産卵：カンパチ（飼育下）の産卵期は4～7月であり³⁾、ヒレナガカンパチの成熟開始尾叉長は60 cm程度、産卵期は5～9月とされる²⁾。
- 被捕食関係：甲殻類や魚類などを捕食する肉食性である。

東京都におけるカンパチ類漁

- 漁業：周年漁獲される。
- 漁法：一本釣り、ひき縄の他、三宅島では定置網で漁獲される。
- 管理：三宅島では東京都資源管理方針に基づく資源管理協定を作成し、定置網漁業において自主的資源管理（禁漁期間の設定）に取り組んでいる。

- 1) 川辺勝俊・木村ジョンソン・安藤和人・垣内喜美男. 1998. 小笠原諸島父島における養成カンパチ2年魚の自然産卵. 水産増殖, 46(1), 31-36.
- 2) 加藤憲司・岡村陽一・木村ジョンソン・吉田勝彦・竹之内卓夫・三木 誠. 1990. 小笠原海域におけるヒレナガカンパチ天然魚の生殖腺の成熟. 水産増殖, 38(1): 81-87.
- 3) 川辺勝俊・加藤憲司・木村ジョンソン・岡村陽一・安藤和人・斉藤 実・吉田勝彦. 1996. 小笠原諸島父島におけるカンパチの親魚養成と採卵. 水産増殖, 44(2): 151-157.